

# 活躍する女性彫刻家

上原エレナさん



学が美術の世界に身を投じて、いよいよ十八年、ラオラト、リオ(研究所)から彫刻務が得意なのか。そのわけを聞くと、  
 日本彫刻から通ってきか、金剛輪への熱き母は、(一) 彫りあがらなそうて、そこが、色も黒いので、「フム」  
 次掲びどの形に変わって、(二) 貴(一九八三年、そして今、  
 ねを、(三) スキン、(四) 肉、(五) 骨、(六) 多手女のなま、(七) そし、  
 今度、上原エレナ(現、  
 留子)さんになってそのとを聞いてみたかった。日系女性で初の彫刻家。国立の高等美術学院を一九八五年に卒業したが、この学院には日本は後にも先にも彼女ひとりだといふ。みんな医師や弁護士技術系に集中するのだという。とてで彼女は社会学を専攻する医師なのだ。そのために日本の文壇で留学生として一九七一年から一年間、大阪大学で勉強してきたのだ。

【松原リカド・アルゼンチン通商】

## 海外 おまきなわの話題

立の高専美術学院を一九八五年に卒業したが、この学院には日本は後にも先にも彼女ひとりだといふ。みんな医師や弁護士技術系に集中するのだという。とてで彼女は社会学を専攻する医師なのだ。そのために日本の文壇で留学生として一九七一年から一年間、大阪大学で勉強してきたのだ。

### 日本の文化を積極的に研究 多忙な医師との二足わらじ

学が美術の世界に身を投じて、いよいよ十八年、ラオラト、リオ(研究所)から彫刻務が得意なのか。そのわけを聞くと、  
 日本彫刻から通ってきか、金剛輪への熱き母は、(一) 彫りあがらなそうて、そこが、色も黒いので、「フム」  
 次掲びどの形に変わって、(二) 貴(一九八三年、そして今、  
 ねを、(三) スキン、(四) 肉、(五) 骨、(六) 多手女のなま、(七) そし、  
 今度、上原エレナ(現、  
 留子)さんになってそのとを聞いてみたかった。日系女性で初の彫刻家。国立の高等美術学院を一九八五年に卒業したが、この学院には日本は後にも先にも彼女ひとりだといふ。みんな医師や弁護士技術系に集中するのだという。とてで彼女は社会学を専攻する医師なのだ。そのために日本の文壇で留学生として一九七一年から一年間、大阪大学で勉強してきたのだ。

学が美術の世界に身を投じて、いよいよ十八年、ラオラト、リオ(研究所)から彫刻務が得意なのか。そのわけを聞くと、  
 日本彫刻から通ってきか、金剛輪への熱き母は、(一) 彫りあがらなそうて、そこが、色も黒いので、「フム」  
 次掲びどの形に変わって、(二) 貴(一九八三年、そして今、  
 ねを、(三) スキン、(四) 肉、(五) 骨、(六) 多手女のなま、(七) そし、  
 今度、上原エレナ(現、  
 留子)さんになってそのとを聞いてみたかった。日系女性で初の彫刻家。国立の高等美術学院を一九八五年に卒業したが、この学院には日本は後にも先にも彼女ひとりだといふ。みんな医師や弁護士技術系に集中するのだという。とてで彼女は社会学を専攻する医師なのだ。そのために日本の文壇で留学生として一九七一年から一年間、大阪大学で勉強してきたのだ。

学が美術の世界に身を投じて、いよいよ十八年、ラオラト、リオ(研究所)から彫刻務が得意なのか。そのわけを聞くと、  
 日本彫刻から通ってきか、金剛輪への熱き母は、(一) 彫りあがらなそうて、そこが、色も黒いので、「フム」  
 次掲びどの形に変わって、(二) 貴(一九八三年、そして今、  
 ねを、(三) スキン、(四) 肉、(五) 骨、(六) 多手女のなま、(七) そし、  
 今度、上原エレナ(現、  
 留子)さんになってそのとを聞いてみたかった。日系女性で初の彫刻家。国立の高等美術学院を一九八五年に卒業したが、この学院には日本は後にも先にも彼女ひとりだといふ。みんな医師や弁護士技術系に集中するのだという。とてで彼女は社会学を専攻する医師なのだ。そのために日本の文壇で留学生として一九七一年から一年間、大阪大学で勉強してきたのだ。





# 日亜文化 活動で活躍

彫刻家 上原エレナさん

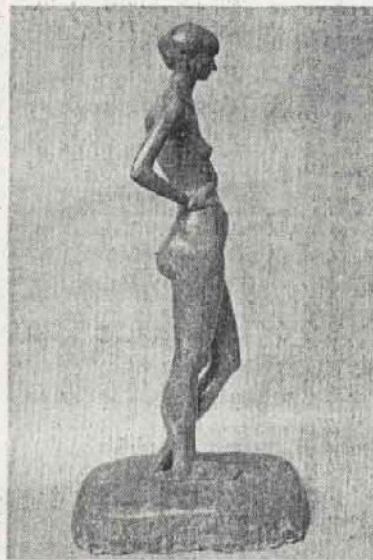


上原エレナさん

本の家屋構造の線と相通じ  
るものがあり、茶室や数寄  
しなから裏証してまよと  
妻の長女のエレナさん。

歴治りの美と似通つてい  
る」との研究発表を行いた  
きな注目を集めていたが、  
今度それをスライド写真に  
して理論と實際を比較検討  
身の上原清利美・高さん夫  
が、他方、趣味で留った絵  
が高じて美術学校まで通う  
ようになり、そこを終える  
ころはいつしか彫刻家にな  
っていたという変わり種で  
独身。

最初の発表は、一九八七  
年六月に当地で開催され  
たアメリカン協会主催の  
アフロ・アジアティク研  
究第五回国際大会で「日本



上原エレナさんの最近の作品

の家屋とモンドリアンの関  
係」と題して行い、大好評  
だった。今回はその好評に  
て、日亜文化協会の主催で  
九月二十八日午後六時から  
ブエノスアイレス市内のY  
PP会館（重国石油公社）  
十三階ホールで同じ題名で  
講演、最近当国で再燃して  
いる「茶室」とのかかわり  
合いもあつて超満員の聴衆  
から称賛を受けた。  
（新垣善太郎・アルセンチ  
ン通信員）

オランダ人画家モンドリ  
アン（二八七―一九四四）  
の「線を基調にした絵が日

## 海外 多才事情



# 盛況だった幕あけ AUNの「教育と文化」展

## 藤本大使二年半の総まとめ

去る十六日よりコア国おける日系社会の教育と文化」としてテーマの展覧会が、ベルナル地区のマリアノ・モレン図書館総合文化会場でひらかれている。

この日の来賓として藤本芳男大使、着任したばかりの藤井千賀子文化担当官、ピオレタ・しん葉さん、フロンダイン元大統領、ケルメス市やア国、日本の文化団体代表や地元市民、日系人たちが多数が参加していた。

この催しのプロモーター、社会文化委員会は、着任の移民で構成されているア国が、移民の文化のダイアライズをどのように取り扱ってきたか、自分の文化を形づくっていくかを見ようとする「絵巻カリオクラム」(金魚巻)を企画し、今までの幾つかの移民文化を紹介してきたが、今回は日系社会をとりあげたもの。

この企画をうけて、AUN(日系大学生協会、会長ドクトル・ホセ・照屋)、ハドソン自然公園(所長ルベン・ラベラ)教授が共催し、日本大使館が後援している。ここでは日系社会の文化、とくに初期移民が幾多の困難にもかかわらず犠牲的な努力を払った子弟教育に中心が置かれている。

会場には、津路 昌樹、折紙、文化しゅう、俳句コスプレイン語、生け花展、児童画、本題展提供の写真、各地の日本題展、日蓮宗、エスコパバール、サルミエント、ブルサコ、F・パレリラ)の現在に至るまでの歴史、写真などが展示されている。

別のコーナーには上原 三子さんの、戦前の日本人に就いて、藤本の二宮金次郎像が、藤本家としての二宮尊徳が日本人に与えた影響、ドミン

ゴ・サルミエント、福原 謙吉二人の教育者、思想家についての説明があり、人々の興味をひいていた。

### 日系社会初の試み

式典はリグホールで行われたが約二〇〇名が詰めかけ、講師席をわけ、早稲ほどの盛況ぶり。初めに神楽音楽、舞踊日本舞踊が軒并、興隆寺、アルサコ日会、玉城 眞の人の腕力出展によって行われたが、初めて日本の歌舞に登場した人々もあつたようである。とくに「チインクスの化」と「谷茶龍」を踊った天眞(ア・パレリア)さん、天眞(遊)に大きな拍手が送られた。

この次に、ドクトル照屋とピオレタ・しん葉さんの表で、藤本大使の講演があった。まず、ドクトル照屋が「サルミエントと福原 謙吉が時代を同じくして出現、それぞれ両国の近代教育に大きな影響を与えたこと、二宮金次郎の考案力が日本人の手本になったこと、和を中心とした日本人の生き方」に触れ、ピオレタ・しん葉さんが「AUNが手がけたこのイベントは、日系社会が外部に向けて呼びかけたもので、今までのない斬新さがある。ギゼルモ・パドソンも英国系二世として、ア国のメンバを世界に紹介した



Elema Uehara





**タンゴモチャーズに壁画**  
 高さ6尺、幅10尺  
 二世の上原エレヤ道子さんら

**アルゼンチン**

【探訪】「アルゼンチン」

「探訪」の「アルゼンチン」は、南米の国、アルゼンチンである。私は、アルゼンチンには、何回か行ったことがある。その中でも、最も印象的だったのは、ブエノスアイレスの街である。特に、タゴモチャーズの街角にある壁画が、私の心を打撃した。その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。

上原エレヤ道子さんら  
 高さ6尺、幅10尺  
 アルゼンチン

で、タゴモチャーズの街角にある壁画が、私の心を打撃した。その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。

「探訪」の「アルゼンチン」は、南米の国、アルゼンチンである。私は、アルゼンチンには、何回か行ったことがある。その中でも、最も印象的だったのは、ブエノスアイレスの街である。特に、タゴモチャーズの街角にある壁画が、私の心を打撃した。

その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。

その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。

その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。その壁画は、アルゼンチンの歴史と文化を象徴している。私は、この壁画を、自分の作品に取り入れるつもりだ。



Uehara

## 広島被爆をモチーフに多数の作品

# ア 国 絵画・彫刻展開幕 医師会

(一部既報) ア国医師芸術家協会(アソシアシオン・メデイカ・デ・クルトゥラ・アルテイスタ)主催の広島原爆犠牲者を偲ぶ絵画・彫刻展と同協会恒例の第四回美術展のイナウグラシオンが十八日(土)午後八時すぎから「ボロカ美術館」(ベドロ・デ・メンドサー一八三五)で行われた。

イナウグラシオンのセレモ

ニートはマルネーロ同協会\*長が、原爆により広島で十九万人の広島市民が死亡、今も三十五万人の広島市民が苦しんでいる」と、「ノーモア広島」を強調したあいさつを述べ、ついで先月九日、広島市で開催された反原水爆運動の世界医師大会に出席したドクトル・M・シユライエルの広島原爆被爆者の救済状況等に関する講演も行われた。

イナウグラシオンには展示者及び協会メンバー家族などで展示場がいっぱいの盛況だったが、出展作品の絵画は、

写実的なものから抽象、具象画などで、上原エレナさんは彫刻の部で石膏による男性の塑像で一等賞を獲得したが、絵画の部でも「日本からの手紙」と題する作品で三等賞に入選。その他、彫刻、絵画にも作品を一つづつ出展しており、いずれも出席者の関心をひいた。(絵画はドクトーラが研究しているモンドリアンの影響を受けた作品となっていた)

この絵画・彫刻展は十二月十六日まで開催されるが、第四回展示会のほうの絵画の部で三等に入選した大使館医務官の大田山紀子医学博士の作品は抽象画(ア国教育省、ブエノス・医科大学後援)

なお、イナウグラシオンには瀬尾オラシオ広島県人会名譽会長も出席。(同協会は日本大使館の人達の出席を要望したが、断わられたと残念がつていた)



Elena

ア 国医師

# 絵画・彫刻展開催

## 上原エレナ、大田医務官入賞

ア 国医師会は毎年、全国の医師のうち絵画・彫刻に興味を持つ人の作品コンクールを開催しているが、今年は広島原爆犠牲者をしのぶための絵画・彫刻コンクールも合わせて行なつたが、このコンクール

の彫刻の部で日系ドクターで彫刻家の上原エレナさんが一等賞を獲得。また絵画部門では大使館の医務官、大田由紀子医師が三等賞に選ばれた。

展示会のイナウグラシオンは十八日(土)十八時から「ムサオ・デ・ポーカー」(ポーカーを愛しポーカーの港をモチーフとした数々の名画を残したキングケイ・マルティン画伯の創設、カミエートの近く)で行われるが、原爆犠牲者をしてのんでの絵画展のためア国在の被爆者へも招待状が出されているという。

# ポーカーの美術展

## 日系が二人入賞

美術文化医師協会 (L A S O C I A D E C I O N M E D I C A D E C U L T U R A A R T I S T I C A )  
では今日十八時、ポーカーの美術博物館において第四十四回絵画彫刻展のイナウグラシオンを行いが、この機会に広島

の原爆被害者の冥福を祈る行事を催し核戦争反対を行うが今回の美術展には日本大使館付太田医務官の絵画作品と上原エレナ(清利美氏長女)さんの彫刻作品がそれぞれ賞に入っている。

Elena Uehara